

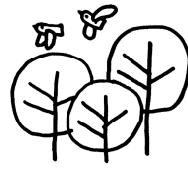


日本共産党・金子卓 議員

あなたのご意見・要望を お聞かせください

「アンケート」がお手元に届きましたら ご協力ください

市政についての

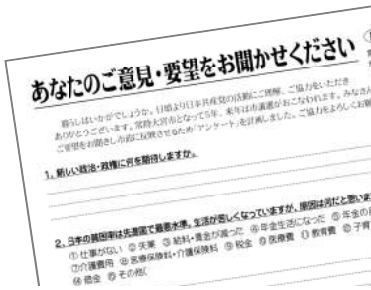


民主大宮

NO. 115
2009年12月
日本共産党大宮支部
電話 (52) 2422
FAX (52) 2471
メールアドレス
kaneko-s@jcp-net.jp

いま、皆さんの自宅にアンケート用紙を手配りしています。お手元に届きましたら、ご協力をよろしく願います。

*アンケートは切手を貼らずに返信封筒に入れて郵便ポストに投かんしてください。



日頃より日本共産党の活動にご理解、ご協力をいただきましてありがとうございます。常陸大宮市となつて5年、来年は市議選・参院選・県議選がおこなわれます。

日本共産党大宮支部と金子議員は、みなさんのご意見やご要望をお聞きし、市政に反映させるために「アンケート」を計画しました。



国民の「政治を変えたい」「くらしを守りたい」という願いが、自公政権を退場させました。しかし、臨時国会で、民主党政権は、労働者派遣法、後期高齢者医療制度、沖縄の米軍基地問題など自公政治からの転換が求められている『要』の問題で、選挙時の公約とくいちがつ、後退する態度が次々と現れています。

日本共産党は、くらし、雇用、平和などでの国民の願いにこたえて、事態を前向きに打開するために、建設的野党として全力をあげています。

国民の立場から新政権の問題点をただし 政治をさらに前に動かします

J A全農の全国大会で、党の代表として初めて招かれた志位委員長があいさつ。「農産物の価格保障、所得補償を」「日米F T A(自由貿易協定)に断固反対」の訴えに、会場からは、どよめきとともに大きな拍手が寄せられました。

朝日新聞は「出席した主要政党幹部で拍手を最も集めたのは、共産党の志位委員長だった」と報じました。

「しんぶん赤旗」をぜひお読みください

日刊紙 2900円/月 日曜版 800円/月

見本紙(無料)申し込み

購読申し込み

日本共産党 東京朝日会館〒140-2687 電話: 03(3403)6111

*電話申込みは、金子議員まで ☎(52)2422

明日の日本が見えてくる

読者の声、くらしの悩み、世界の現状、ニュースの裏面、写真などから読みとる

しんぶん 赤旗

第5回 アジア政党国際会議

「核のない世界」よびかけ

日本共産党代表団が提起

アジアの41の国と地域から74政党があつまった第5回アジア政党国際会議がカザフスタンで開かれ、日本共産党から、志位委員長を団長とする代表団が参加しました。志位委員長は、カザフスタンが旧ソ連時代に、セミパラチンスク核実験場による深刻な被害を苦しめられたことにもふれ、「この地から、核廃絶の声を世界に発信しよう」と訴えました。

会議は、「あらゆる地域で核兵器のない世界を目標とすべきだ」と世界によびかける宣言を採択し、閉会しました。

日本共産党のホームページ
<http://www.jcp.or.jp/>

日本共産党 検索

日本共産党・金子議員の一般質問は 16日(水) (10時開会)の2番目です。

今議会は10人が一般質問をします。共産党の堀江鶴治議員は17日(木)の5番目(午後になります)におこないます。

- #### □ 金子卓議員の一般質問項目
1. 市の健康づくり事業について
(1)健康づくり事業に対する市長の見解
(2)国民健康保険被保険者の健康づくり
(3)後期高齢者の健康づくり
(4)市職員の健康づくり
 2. 公共交通について
(1)地域公共交通連携計画策定業務委託の内容
(2)予約制乗合タクシー全市運行の際の運行エリアの考え方
 3. 霞ヶ浦導水事業と市の上水道事業について
(1)下水道基本計画構想21における当市の水需要水量
(2)水運用計画策定(案)として県水受水を増やして市の自己水源・施設を縮小させるようにしていることの問題
 4. 市の行政情報について
(1)開示と区分された行政情報の議員への提供
(2)事務事業推進管理表(個表)の議員への提供
 5. 建設工事等の入札について
(1)1-8号線と2497号線の道路改良工事入札の経緯と結果
(2)郵便入札試行の状況と今後の方向
(3)「歩切り」実施の有無、内容



核兵器ゼロへ 世界が動く

国連安全保障理事会

はじめて 核軍縮促進を決議

オバマ米大統領を議長に、はじめて核軍縮・不拡散をテーマにした国連安全保障理事会首脳会合が、9月24日開かれました。核軍縮条約の交渉をよびかける米提案の決議が、核保有5大国をふくむ全会一致で採択されました(写真左)。

UN Photo/Eskinder Debebe



乗合タクシー

制度のいいないな 広報・周知を

待望の予約制乗合タクシーの試行運行が御前山地域を対象に10月1日から開始、来年度の早い時期（市長答弁）に市内全域で運行されます。

日本共産党の金子議員は「乗合タクシー」について連続して議会の一般質問で取りあげ、市内全域実施の早期実現と制度のきめかまやかな周知を求めてきました。

「乗合タクシーは、利用手順にさえ慣れば満足度が高いサービスであることから、いいないな説明会など認知度向上策の実施がこの事業を早期に成功させる重要なポイントとなっている」と東北運輸局の「1-Tを活用したデマンド型乗合タクシーの導入事例分析調査報告書」でも強調されています。

中心商店街の活性化に役立つ乗合タクシー

また、乗合タクシー（デマンド交通システム）がもたらす商

店街の活性化について、デマンド交通システムを導入した全国の自治体と関連団体、学識経験者等により設立された「連絡協議会」は次のように述べています。

デマンド交通システムは、住民の方が希望する場所から場所までドアからドアへの移動を低額で提供する新しい公共交通サービスです。お店の軒先まで地域のお客様をお連れしたり、従業員・アルバイトの送迎から商品の配達、集客や顧客サービスを兼ねた待合所の設置等、いろいろな場面で地域の住民の方とお店を結びます。店先から自宅への移動が可能ですから、荷物を持つての移動も少なくて済み、お客様は安心していろいろな買い物ができるようになります。ポイントサービスやデマンド交通の利用チケットを提供して、販売促進を図っているところもあり、デマンド交通システムは、地域の活性化にも役立っています。

商店街の活性化も目的

金子議員は6月議会の一般質問で「乗合タクシーの目的が日常生活の移動手段の確保とこのためであれば、買い物といふのはもともと重視されてしかるべきと考ええるものです。それから、予約センターの場所は、人が集中する大宮地域

に置いて、商店街の活性化といふことも目的のひとつに入れるべきだと思います」とのべ、次のように質問しました。

「予約制乗合タクシーを最初に運行した福島県小高町等では商工会が運行主体となり、目的の2つ目の柱に商店街活性化を入れてます。県内でも2年前に市内全域運行を開始した石岡市は、中心市街地にぎわいを取り戻すといふまちづくりの課題も合わせています。当市での予約制乗合タクシーの本格運行にあたって、

霞ヶ浦導水事業での水供給を前提にした水道への転換は問題

金子議員は霞ヶ浦導水事業

と水道事業の問題を取りあげ「新年度予算に新規計上された水運用基本計画の説明で、霞ヶ浦導水事業完成時の県中中央広域水道からの水道水の供給を前提にした市上水道事業にシフトしようとしていることへの強い危惧を感じています」

とのべ、水運用基本計画策定業務の契約（株、環境技研）ンサルタント茨城支店と364万円（契約）に当たって、県中央広域水道からの受水量の変更、また、現在4つある浄水場に関して、どのような計画の案をもっているのか質問し

「日常生活の移動手段の確保」と合わせて「中心商店街の活性化」を目的にするのかどうかお聞きください」

総務部長は「デマンド交通システムは商店街活性化の手段として効果があると言われているので、本格運行にあたってはこうした点も勘案して検討したい」と答弁しました。

「予約センター」を大宮に

金子議員は9月議会でも引き続きこの問題を取りあげ、中心商店街の活性化はどのよ

うに検討されているか質問。本格運行にあたっては予約センターの場所を大宮地域に置くよう再度求めました。

しかし答弁は、中心商店街の活性化については答えず、予約センターの場所についても「本市は面積が広いので市の中心部に設置した方が良いとの判断です。合わせて、既存の施設の有効利用も考慮しました」と前議会の答弁を繰り返すだけでした。



ました。

上下水道部長は「これまでの協定経緯や経営の実態、特に現在受水し大宮地域に配水している現状等を考慮すれば、協定水量の受水は将来的にも必要であると考えています。水道施設の経年劣化に伴う施設の更新計画や浄水場の廃止等、段階的受水に応じた経営に移行せざるを得ないと思われる」と答弁しました。

金子議員は再質問で「大宮地域の上下水道の総配水量も1日最大給水量も減少しています。今後の人口動向、水道の普及予測、世帯構成の変化、

雨水利用に助成を

全国各地で、雨水利用の積極的推進のため、設置に対して助成する自治体が増えていきます。

金子議員は「雨水タンクの設置は庭の植木植物の水まきなどに最適で、下水道普及地域では料金の節約にもなります。1件ずつでは微力ですが、より多くの家庭が設置すれば水道水の節水になります。近隣自治体では日立市に『雨水貯留槽設置補助制度』があります。当市でも環境保全のため、また大切な水道水の節水のために、このような助成制度をつくってはどうか」と質問しました。

三次市長は「日立市の例を示された助成制度については、検討させていただきます」と答えました。

仕事・くらしの悩み
お気軽に相談を

連絡先 ケータイ
金子卓議員
090-1994-7696

日本共産党